

2026 年度

入学試験問題

地歴・公民

〔歴史総合，世界史探究〕

2月3日

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで，この問題冊子を開かないこと。
2. この冊子は9ページある。
3. 解答用紙はマークシート式解答用紙1枚で，別に配付する。
4. 本冊子に脱落，印刷不明瞭がある場合は，本試験中に試験監督者に申し出ること。
5. この教科を事前に申込みしていない場合は，受験できない。
6. 受験する教科は受験票に記載してある教科で，本日教科の変更はできない。
7. マークシート式解答用紙の記入上の注意
 - ①マークシート式解答用紙の解答欄は45問までであるが，問題の中にある設問数まで解答すること。(問題の中にある の数字が解答番号に対応している)
 - ②解答には，黒鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
 - ③一度記入した解答を訂正する場合は，消しゴムで完全に消してから記入しなおすこと。
 - ④解答用紙を折り曲げたり，破ったり，汚したりしないこと。
 - ⑤解答欄への記入は，マークシート記入例にしたがって，正確にマークすること。
8. 上記の注意を守らない場合は，採点できないことがある。
9. 試験終了後，問題冊子は持ち帰ること。

1 次の資料を読み、以下の問いに答えよ。

- A ソ連が核ミサイル基地の建設を進めると、主要都市が射程圏に入るアメリカの大統領ケネディ⁽¹⁾は、その撤去を要求した。両国の危機は核戦争直前の段階まで深刻化したが最終的に回避された。
- B 被ばくをした日本のマグロ漁船の乗組員（久保山愛吉）は「原水爆の犠牲者は私を最後にして欲しい」という言葉を残して亡くなった。以後、原水爆禁止を求める運動が高揚していった。
- C 国連総会で核兵器禁止条約が可決された。しかし、アメリカやロシアなど核兵器保有国は核兵器の廃絶に消極的である。世界で唯一の戦争被爆国である日本の役割が⁽²⁾、戦後80年を経過し、今まで以上に問われている。
- D 核拡散防止条約（NPT）が最初の62か国で調印された。しかし、インドおよびインドと対立する国の両国が核実験を実施し⁽³⁾、さらに北朝鮮が2006年から2017年までに6回の核実験を行うなど、核の拡散はとまっていない。

問1 AからCを時代順に並びかえた際、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1

- ① A→B→C
② A→C→B
③ B→A→C
④ B→C→A

問2 下線部(1)に関わり、ソ連がミサイル基地を建設した国として最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

2

- ① メキシコ ② カナダ ③ キューバ ④ ベネズエラ

問3 下線部(2)に関わり、日本が核兵器禁止条約にどのような対応を採っているのか、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

3

- ① 署名はしたが批准はしていない。
② 署名も批准もしていない。
③ 署名も批准もしている。
④ 批准はしたが署名はしていない。

問4 下線部(3)に関わり、インドと対立して核実験を行った国として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

4

- ① バングラディシュ ② タイ ③ ネパール ④ パキスタン

2 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

地中海東岸では、セム語系の民族がさまざまな小国を形成していたが、⁽¹⁾ヒッタイトやエジプトが衰退すると、内陸貿易で独自に発展した。⁽²⁾フェニキア人は海上貿易で活躍し、北アフリカにカルタゴなどの植民市をたてた。⁽³⁾彼らの言語や文字は交易を通じて、周辺地域に伝わった。パレスチナに定住した⁽⁴⁾ヘブライ人は、イェルサレムを都としてヘブライ王国をたてたが、ソロモン王の死後、北部のイスラエル王国と南部のユダ王国に分裂した。その後⁽⁵⁾ユダヤ教を成立させた。一方、北メソポタミアに建国したセム語系のアッシリアは、前8世紀以降、都をニネヴェにおき、前7世紀にはオリエントの統一に成功した。全国を州に分け、各州に総督を派遣した。アッシリアの滅亡後オリエントには⁽⁶⁾4王国が分立した。

問1 下線部(1)の説明として、誤っているものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

5

- ① 鉄製の武器と馬がひく戦車を用いて戦った。
- ② 古バビロニアを滅ぼした。
- ③ シリアをめぐるエジプトと対立した。
- ④ 新たに民族移動した「海の民」を支配下に置いた。

問2 下線部(2)の説明として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

6

- ① シドン・ティルスを拠点に巨大な帝国を築いた。
- ② 主に地中海での商業に従事した。
- ③ シリアのダマスクスを都に定めた。
- ④ ミタンニを滅ぼした。

問3 下線部(3)からアラム文字を経て派生した文字として最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

7

- ① ラテン文字
- ② ギリシア文字
- ③ ヘブライ文字
- ④ キリル文字

問4 下線部(4)についての説明として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

8

- ① イスラエル王国は新バビロニアによって滅亡した。
- ② ユダ王国はアッシリアによって滅亡した。
- ③ バビロン捕囚から、アケメネス朝のキュロス2世によって解放された。
- ④ ユダヤの地に帰還したことをディアスポラという。

問5 下線部(5)についての説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

9

- ① 唯一神ヤハウエへの信仰である。
- ② 強い選民思想はキリスト教に受け継がれた。
- ③ 「出エジプト」は『旧約聖書』の記述にもとづくものである。
- ④ ユダヤ教主流派は、イエスをメシアと認めない。

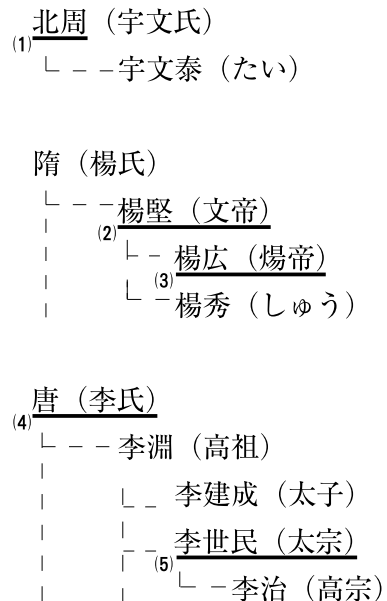
問6 下線部(6)に含まれない国を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

10

- ① エジプト
- ② リディア
- ③ 新バビロニア
- ④ カッシート

3 次の図をみて、以下の問いに答えよ

図 A 北周・隋・唐帝室の家系図



問1 下線部(1)の出自となった民族として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

11

- ① 匈奴
- ② 鮮卑
- ③ 氏
- ④ 羌

問2 下線部(2)の説明として、誤っているものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

12

- ① 南朝の陳を併合して南北中国を統一した。
- ② 北朝の均田制・租庸調制を取り入れて財政的基盤を強化した。
- ③ 官吏登用法として九品中正制度を採用した。
- ④ 府兵制を取り入れ軍事的基盤を強化した。

問3 下線部(3)の説明として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

13

- ① 華北と江南を結ぶ大運河を完成させた。
- ② 高句麗を征服して、支配領域を拡大した。
- ③ 北方の突厥を東西に分裂させた。
- ④ 科挙制度を導入した。

問4 下線部(4)の時代の思想・宗教の説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

14

- ① 儒教では、『五経正義』が編集され、南北に分裂していた五経の解釈が統一された。
- ② 仏教では、玄奘や義浄らインドに赴く僧が現れた。
- ③ 道教は、民衆に広く浸透したが、皇室によって弾圧された。
- ④ ゾロアスター教、マニ教、キリスト教、イスラーム教などが伝来した。

問5 下線部(4)の生活面の説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

15

- ① 騎馬の風習が広まり、女性も馬に乗るようになった。
- ② ペルシア伝来のポロ（馬上ホッケー）が庶民の間で流行した。
- ③ 西方から伝わった挽き臼技術の普及に伴い粉食が定着した。
- ④ 喫茶の風習が庶民にまで広がり、茶店が出現した。

問6 下線部(5)の説明として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

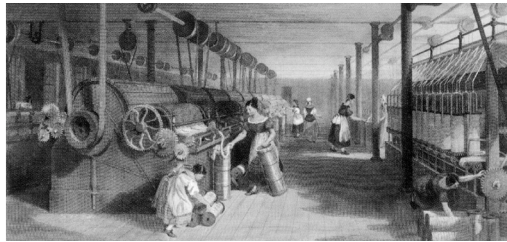
16

- ① 皇太子と弟を殺害し、父の譲位を受けて即位した。
- ② 中国国内を再統一した。
- ③ 社会の安定を生み出し、のちに「貞観の治」と称えられている。
- ④ 西突厥を服属させ、朝鮮半島にも進出し、ユーラシア大陸東部の大部分を支配する大帝国となった。

4 次の図をみて、以下の問いに答えよ。



図A



図B



図C

問1 図Aは、17～18世紀を中心に流行した社交場の様子である。貴族・上流階級の女性などが主催し、文人・学者・芸術家らが文化・思想について議論した場所として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

17

- ① コーヒーハウス
- ② カフェ
- ③ クラブ
- ④ サロン

問2 図Aのような人々の集う場所は、新しい思想の普及の場ともなった。『百科全書』編纂の中心的人物として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

18

- ① ケネー
- ② デイドロ
- ③ ルソー
- ④ ヴォルテール

問3 図Bは、1840年の紡績工場の様子である。19世紀半ばに、高い工業力から「世界の工場」と呼ばれた国として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

19

- ① フランス
- ② ドイツ
- ③ イギリス
- ④ アメリカ

問4 図Bに関連して、熟練不要・連続作業可能な水力紡績機を発明した人物として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

20

- ① ハーグリーヴズ
- ② アークライト
- ③ クロンプトン
- ④ カートライト

問5 図Cは、1830年の七月革命勝利の象徴である女神の姿を描いたものである。「民衆を導く自由の女神」を描いた画家として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

21

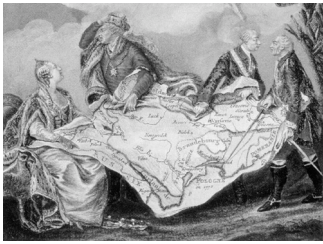
- ① ドラクロワ
- ② ミレー
- ③ クールベ
- ④ ルノワール

問6 図Cに関連して、自由主義者として知られ、七月革命で成立した立憲王政期のフランス王として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

22

- ① ルイ16世
- ② シャルル10世
- ③ ルイ＝フィリップ
- ④ ルイ＝ナポレオン

5 次の図をみて、以下の問いに答えよ。



図A



図B



図C

問1 Aの当事国として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

23

- ① プロイセン
- ② フランス
- ③ オーストリア
- ④ ロシア

問2 Aの一部の当事国同士が七年戦争で争った地域として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

24

- ① ラインラント
- ② アルザス
- ③ シュレジエン
- ④ トリエステ

問3 Bの会議をとりまとめる中心的な役割を果たした人物として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

25

- ① ビスマルク
- ② メッテルニヒ
- ③ リシュリュー
- ④ マザラン

問4 Bの会議の合意事項として、**誤っているもの**を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

26

- ① スイスが永世中立国として承認された。
- ② ライン同盟を廃止し、オーストリアを盟主とするドイツ連邦が結成された。
- ③ オランダが南ネーデルラントを併合し、王国となった。
- ④ スペインでハプスブルク朝が復活した。

問5 Cに描かれている外交政策を展開した人物として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

27

- ① セオドア＝ローズヴェルト
- ② マッキンリー
- ③ タフト
- ④ ウィルソン

問6 Cに描かれている地域で1914年に完成した運河として、最も適切なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

28

- ① キール運河
- ② スエズ運河
- ③ パナマ運河
- ④ ウェランド運河